



令和5年度 公開講座（高校生対象）


障害者支援とソーシャルワークの基礎知識

誰もが差別されない社会づくりに、ソーシャルワーカーは一翼を担ってきています。ソーシャルワーカーを目指す人に重要なことは、自分自身がたくさんのバリア（偏見）を持っていることに気づいていくことです。今回は、聴覚障害、視覚障害の2つの障害を取り上げ、ソーシャルワーカーをこれから目指す人が、自ら持っているバリアに気づき、それを通して、ソーシャルワークとは何かについて学修するプログラムを提供します。

日時	令和5年8月18日(金) 10時00分～15時00分
講師	県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科人間福祉学コース 准教授 大下 由美
会場	県立広島大学三原キャンパス4号館 4601 講義室 (三原市学園町1-1)
対象	障害者支援やソーシャルワークに関心のある高校生
定員	10名 ※応募者多数の場合は抽選
受講料	無料
申込締切	令和5年7月28日(金)
問合せ先	県立広島大学三原地域連携センター 公開講座係 〒723-0053 三原市学園町1-1 電話：0848-60-1120 (平日9時00分～17時00分) FAX：0848-60-1134 メール：mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp

※講座の詳しい内容と申込方法は、2ページをご覧ください。

令和5年度公開講座「障害者支援とソーシャルワークの基礎知識」

	1	社会的に作られる障害とソーシャルワーク	大下 由美
内容	<p>本講座では、「障害」という言葉に対して、受講者の方が抱いている偏見に気づき、相互に理解して行く関係づくりの基礎知識と、支援のための基礎理論を学びます。午前中は、視覚障害者、聴覚障害者にとって、生活場面の中で出会う様々な課題は何かについて具体的に考え、手話を第一言語とするろう者の世界について深く学びます。午後は、手話を第一言語とするろう者と聴者との間で生じる問題を解決していく、ソーシャルワークの実際について学びます。</p>		
受講条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講座の受講にあたって、マスクの着用は個人の判断にゆだねます。 ・ 飛沫感染を防ぐために、受講者間の会話はできるだけ小さな声で、短時間のうちに済ませるようお願いします。 ・ 咳やくしゃみの際には、咳エチケットにご留意ください。 ・ 熱がある場合、風邪症状がある場合、だるさや息苦しさなど普段と体調が違っていると感じる場合、出席をご遠慮ください。 <p>※新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、やむを得ず、公開講座を中止または延期する場合があります。</p> <p>※お申し込みの方は受講条件にご承諾いただいたものといたします。</p>		
申込方法	<p>下記の県立広島大学ホームページ上 URL「申込フォーム」またはQRコードからお申込みください。</p> <p>https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=801</p>  <p>※申込の方へ受講案内をメールで通知します。メールフィルター設定をされている場合は、@pu-hiroshima.ac.jp ドメインからのメールを受信できるよう設定をお願いします。</p>		

県立広島大学 三原地域連携センター